

1 学校における人権教育全体計画及び年間指導計画への位置付けについて

(1) 小学校

小学校人権教育全体計画（例）



小学校第3学年 年間指導計画（例）

◎人権感覚育成プログラム（学校教育編）第2集【新規】

*人権感覚育成プログラム増補版（学校教育編）平成25年3月

○人権感覚育成プログラム（学校教育編）平成20年3月

月	教科等	主題・題材名	目標	人権教育との関連
4	学級活動	3年生になって	3年生になった喜びと中学年としての自覚をもって自分の目標を作る。	自分のよいところを見付け、自分を価値ある存在として肯定的に認め、受け入れる態度を養う。【自己尊重の感情】
5	道徳	母の日のプレゼント	みんなで助け合い、温かい家庭を作っていくこうとする心情を育てる。	家族の一員として、楽しい家庭を作ろうとする積極的な態度を培う。【共感と連帯感】
	理科	チョウを育てよう	モンシロチョウの卵を採集して育て、卵、幼虫、蛹、成虫への成長の変化をとらえることができるようする。	身近な生き物に優しく接しながら生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする意識を高める。【生命尊重】
6	社会	わたしたちの町	身近な地域の環境や様子について、人々の生活との関連を踏まえて理解する。	身近な社会との関係を理解し、地域の発展のために努力しようとする意識を養う。【参加・参画】
7	学級活動	こんなに大きくなつたよ ◎	自分の心身の発育・発達について関心をもち、心身の健康を保持増進する態度を養う。	自他の成長や命の温かみを知ることで、自他の生命を尊重することができるようする。【生命尊重】
9	道徳	絵はがきと切手	友達と互いに信頼し、助け合い、忠告し合って友情を深めていくこうとする心情を育てる。	意見や気持ちを適切に伝え合い、分かり合えるようにする意識を高める。【コミュニケーション能力】
10	学級活動	仲良く、協力しよう ○	縦割り集団活動を通して、児童相互の思いやりの気持ちを育てる。	協力する楽しさを感受させながら、集団生活に責任をもつて主体的に参加しようとする態度を育てる。【参加・参画】
11	学級活動	みんながえがおですごすために ◎	互いの違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し合ったりして生活することの大切さを理解する。	お互いの大切さを認め合い、公平・公正に対応しようとする態度を養う。【公平・公正】
12	学級活動	インターネットのやくそく守れている？ ◎	インターネットなどの使い方のルールを守り、心身ともに健康な生活を送ろうとする態度を養う。	自分の権利だけでなく、集団の一員として、責任を果たそうとする態度を養う。【権利と責任】
1	道徳	自分の考えをつたえよう ○	自分の考えをはつきりと伝えるとともによく考えて行動しようとする態度を育てる。	伝え合い、分かり合えるためのコミュニケーション能力の基礎を育てる。【コミュニケーション能力】
2	学級活動	日本があたりまえは、世界のアタリマエ？ ◎	世界の食材や料理を対比することから、食べ物にはそれぞれの文化的な背景があることについて考える。	多様な見方や考え方があることに気付かせ、それを尊重しようとする態度を育てる。【多様性の尊重・共生】
	道徳	一輪の花	誰に対しても分け隔てなく接することのできる判断力を育てる。	一方に偏ることなく、平等を重んじ、公平・公正に接することを貫こうとする態度を育む。【公平・公正】
3	国語	おにたのぼうし	文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付く。	異なる立場や価値観を尊重し、共生しようとする気持ちの大切さについて考える。【多様性の尊重・共生】

(2) 中学校

中学校人権教育全体計画（例）

○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 ○人権教育・啓発に関する基本計画 ○人権教育の指導方法の在り方について〔第三次とりまとめ〕 ○埼玉県人権施策推進指針	学校教育目標 意欲的に学ぶ生徒 心ゆたかな生徒 たくましく生きる生徒	○生徒、地域の実態 ・男女の仲が良い ・学校行事を頑張る ・部活動に熱心である ・教育に対する関心が高い ○保護者の願い ・心身ともに健康な子供の育成	
埼玉県教育振興基本計画 埼玉県教育行政重点施策 ・人権を尊重した教育の推進 埼玉県人権教育実施方針 ・県民が主体となる人権教育 ・生涯を通じた人権教育 ・人権感覚を培う人権教育 ・共生の心を醸成する人権教育 ○○市指導の重点目標 ・児童生徒の発達の段階に応じて人権問題についての正しい理解を図る。	人権教育目標 ・人権を尊重する教育の徹底を図り、他者の痛みに共感できる豊かな人間性の醸成に努める。 ・人権に対する正しい理解と認識を培い、差別を解消しようとする意欲と実践力を高める。	望ましい生徒像 ・強い意志をもち、正しいことを最後までやり通す生徒 ・豊かな心で人に接し、互いに尊敬し合える生徒 ・差別を許さず、差別に立ち向かって生活できる生徒	
各学年の重点目標	第1学年 中学校の集団活動になじみ、集団生活の中でいじめなどの差別をしない、許さない態度を養う。	第2学年 人権問題を正しく理解し、集団生活の中で人権を尊重する態度を養う。	第3学年 人権侵害や差別問題について考え、自らの行動を通して明るい社会をつくろうとする態度を養う。
各教科等における人権教育の目標			
国語	様々な教材を通して、人間としての生き方や考え方を深め、感動する心や表現する力を育てる。	芸術・家政	情報モラルについて考え、行動できる態度を養う。よりよい家庭のあり方に気付き、実践できる態度を育てる。
社会	様々な人権問題や歴史を正しく理解し、差別や偏見を許さない態度を養う。	外国語	外国語の理解や表現を通して、国際的なものの見方や考え方・感じ方を育て、異文化の理解と外国人と共生する態度を育てる。
数学	数学的なものの見方や考え方を通して、論理的な思考や合理的な考え方を養う。	道徳	差別や偏見に気付き、自らを律し、他者を思いやる心を育てるとともに、道徳的実践ができるようにする。
理科	科学的なものの見方や考え方を養い、自然を愛する豊かな心情と真理を探求する力を育てる。		人間尊重の精神を育て、生命や自然への畏怖の念がもてるようになる。
音楽	合奏や合唱を通して、豊かな心情を育てるとともに、美しいものに感動する感性を育て豊かな情操を養う。	特別活動	望ましい集団活動を通して信頼関係を築き、互いのよさを認め、励まし合ったり協力し合ったりできる態度を育てる。また、自他を尊重し、進んで社会に貢献できる生き方を考えられるようにする。
美術	表現活動を通して、美しさを愛する豊かな感性を育てる。		自らの課題を設定し解決する過程を通して、問題解決能力や自主的、創造的な態度を育てるとともに、自らの生き方について考えられるようにする。
保健体育	自己の健康や安全に努め、運動を通して健康な身体と体力の向上を図り、集団としての協力性・連帯性を養う。	総合的な学習の時間	
各人権課題への取組			
女性 子供 高齢者 障害のある人 同和問題 外国人 その他の人権課題	・性別に基づく固定的な役割分担意識を是正し、人権尊重を基礎とした男女平等観を育む。 ・自他の権利を大切にし、社会の中で果たすべき義務や自己責任を果たす生徒を育成する。 ・高齢社会に関する基礎的理解や介護・福祉の問題などに関する理解を深める。 ・障害のある人との交流の機会等を通じて、共生社会の実現に努める意識を身に付ける。 ・同和問題を正しく認識し、差別をなくしていく実践力を養う。 ・異文化を尊重する態度や異なる習慣・文化をもつ人々と共に生きていく態度を育む。 ・HIV感染者等に対する偏見や差別の解消を図るとともに、インターネットによる人権侵害や新しい人権問題等、それぞれの問題状況について正しい行動をとれるようにする。		
生徒指導			
	・生徒一人一人が成就感や存在感を得られる指導の充実を図る。 ・自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成に努める。 ・人権の尊重を基盤とする望ましい人間関係を育成する。 ・スクールカウンセラー、相談員と教職員との連携を密にし、情報を共有する。	教職員研修	
		・人権課題を学び、人権感覚の高揚に努める。 ・人権が尊重される学習活動づくり、人間関係づくり、環境づくりについての実践を交流する。 ・授業研究を通して、「人権感覚育成プログラム」を活用した参加体験型学習を取り入れた指導方法等の工夫改善を図る。	
家庭・地域との連携			
		・本校の人権教育のねらいや方針の啓発を図る。 ・社会体験や交流活動を通して、豊かな人間性を醸成する。	
		校種間の連携	
		・校種間連携会議の定期的開催 ・交流活動の充実	

中学校第3学年 年間指導計画（例）

◎人権感覚育成プログラム（学校教育編）第2集【新規】

*人権感覚育成プログラム増補版（学校教育編）平成25年3月

○人権感覚育成プログラム（学校教育編）平成20年3月

月	教科等	主題・題材名	目標	人権教育との関連
4	社会	第一次世界大戦と社会「広がる社会運動と普通選挙の実現」	大正デモクラシーの風潮の中、社会運動の高まりの中で、部落差別の解消を目指す動きが始まったことを理解する。	同和問題について正しく理解し、同和問題を解決しようとする態度を養う。【同和問題】
5	学級活動	あなたならどうする ○	他者の権利を侵害することなしに積極的に伝える力を養う。	意見を豊かに表現し、的確に理解し合えるように、コミュニケーション能力を培う。【コミュニケーション能力】
	技術・家庭	情報モラル	技術に関わる倫理観や他者と協働して粘り強く物事を前に進める態度を養う。	マナーを守ることが人権尊重につながっていることに気付く。【インターネットによる人権侵害】
6	学級活動	「属性」について考えてみよう ○	自他の個性を肯定的にとらえ、それらを生かして協力し合う態度を育む。	生き方や価値観には多様性があることに気付き、それを尊重する姿勢を身に付ける。【多様性の尊重・共生】
7	社会	多文化共生社会の中で生きる私たち ○	日本の中に見られる外国文化について考え、多文化共生と異文化理解の大切さに気付く。	互いの文化を認め、社会の一員としてより良い社会を形成していくこうとする意欲と態度を養う。【共感と連帯感】
9	学級活動	あなたは何を持って行きますか？ ○	自然災害等に対しての心構えや状況に応じて自他の安全を確保する適切な行動がとれる力を養う。	互いに支え合って生きていることを理解し、生命への畏怖の念をもてるようとする。【生命尊重】
	社会	ケーキをおいしく食べるためには ○	話し合いやロールプレイを通じて、公平の考え方について理解する。	公平とは何かを理解し、日常生活の中でよりよい人間関係の構築につなげられるようとする。【公平・公正】
10	社会	ちがいのちがい ○	自他の人権について考え、人権意識の基礎を身に付ける。	男女平等や男女共同参画の大切さに気付き、その実現に努めようとする意識や態度を育む。【参加・参画】
	社会	人権とは？ ○	子供を含め、全ての人が生まれながらにしてもつ人権について理解を深める。	「子どもの権利条約」に照らして考え、自他の人権を尊重する態度を養う。【権利と責任】
11	道徳	ドナーカード	生命の尊さを深く自覚し、自他の命を尊重する態度を養う。	臓器移植に関する生命の大切さに気付き、自他の命を尊重する態度を養う。【生命尊重】
12	学級活動	いいところ探偵 ○	自己肯定的なキーワード群を手掛かりに自分や友人のよさを再認識し、積極的に行動する意欲を育む。	肯定的な自己理解を深めさせるとともに、自己尊重の感情を高める。【自己尊重の感情】
1	学級活動	ストレスに打ち勝て ○	心身の健康を保持増進するために、自己管理を行うことの意義やその方法を理解する。	自分を価値ある存在として肯定的に認め、受け入れができるようとする。【自己尊重の感情】
2	数学	缶のまわりの長さを求めよう *	文字と式、及び一次関数の応用として、多面的な見方・考え方を育む。	自他の考えを尊重し、比較することで、自己表現力やコミュニケーション能力を培う。【コミュニケーション能力】

(3) 高等学校

高等学校人権教育全体計画（例）

<ul style="list-style-type: none"> ○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 ○人権教育・啓発に関する基本計画 ○人権教育の指導方法の在り方について〔第三次とりまとめ〕 	学校教育目標 日本国憲法及び教育基本法の精神により、人格の完成を目指し、平和的・民主的な国家・社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値を尊重し、自主的精神に満ちた心身共に健康な国民を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉県人権施策推進指針 ○埼玉県人権教育実施方針 ・県民が主体となる人権教育 ・生涯を通じた人権教育 ・人権感覚を培う人権教育 ・共生の心を醸成する人権教育 <p>○埼玉県教育振興基本計画</p>		
人権教育目標				
<p>1 全教育活動を通じて、お互いを尊重し個性を認め合う心、正義感や公正さを重んじる心など、豊かな人間性を育て、人権が尊重される社会の形成に主体的に参画する意識を身に付ける。</p> <p>2 自分の大切さとともに、他の大切さを認めることができるような意識、意欲、態度の育成を図り、それが様々な人権課題を解決しようとする具体的な態度や行動に現れるようにする。</p>				
指導の重点・努力点				
<p>1 各教科等の連携により、人権教育を計画的に実施し、人権問題の正しい理解を図る。</p> <p>2 自分自身の生き方と関連させ、人権課題の解決に向け地域社会に「発信する」「行動する」ことに重点を置く。</p> <p>3 職員研修を充実させ、職員自らが豊かな人権感覚を身に付け、共通理解のもとに人権教育を推進する。</p>				
各学年の重点目標				
第1学年	第2学年	第3学年		
<ul style="list-style-type: none"> ・優しさや思いやりの心、他者の痛みを理解できる豊かな心を育てる。 ・身近にある様々な人権問題に関する理解を深め、人権を尊重する態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する歴史や現状を学習し、人権問題の正しい理解を図る。 ・体験学習・交流及び共同学習を通して主体的に取り組もうとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己のあり方や生き方を考査させる中で、自他の人権を尊重し合う共生社会の実現に向けた実践的態度を育てる。 		
全教育活動				
<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全体を通じての感性や人権感覚を育成する。 ○人権教育推進委員会を中心に組織的に取り組む。 ○ボランティア体験活動、自然体験活動、様々な人たちとの交流活動等を充実させる。 	各人権課題への取組 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> 女性 子供 高齢者 障害のある人 同和問題 外国人 その他の人権課題 </td><td style="width: 66%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・性別に基づく固定的な役割分担意識を是正し、人権尊重を基盤とした男女平等観を育む。 ・生徒を1人の人格として尊重し、社会の中で果たす義務や自己責任について理解する。 ・高齢社会に関する基礎的理解や介護・福祉などの課題に関する理解を深めさせるとともに、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育む。 ・ノーマライゼーションの理念を自らの生き方に取り入れ、共生社会の実現に努める意識を高める。 ・同和問題を正しく理解し、部落差別をなくしていく実践力を身に付ける。 ・国際化の著しい進展を踏まえ、異文化を尊重する意識を育て、異なる文化を有する人々との共生社会の実現に向けた実践的態度を身に付ける。 ・情報モラル教育、性同一性障害をはじめとした性的マイノリティ等をはじめとした様々な人権問題を学習されることにより、全ての人々の人権が尊重された社会の実現に向けた実践的態度を身に付けさせる。 </td></tr> </tbody> </table>		女性 子供 高齢者 障害のある人 同和問題 外国人 その他の人権課題	<ul style="list-style-type: none"> ・性別に基づく固定的な役割分担意識を是正し、人権尊重を基盤とした男女平等観を育む。 ・生徒を1人の人格として尊重し、社会の中で果たす義務や自己責任について理解する。 ・高齢社会に関する基礎的理解や介護・福祉などの課題に関する理解を深めさせるとともに、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育む。 ・ノーマライゼーションの理念を自らの生き方に取り入れ、共生社会の実現に努める意識を高める。 ・同和問題を正しく理解し、部落差別をなくしていく実践力を身に付ける。 ・国際化の著しい進展を踏まえ、異文化を尊重する意識を育て、異なる文化を有する人々との共生社会の実現に向けた実践的態度を身に付ける。 ・情報モラル教育、性同一性障害をはじめとした性的マイノリティ等をはじめとした様々な人権問題を学習されることにより、全ての人々の人権が尊重された社会の実現に向けた実践的態度を身に付けさせる。
女性 子供 高齢者 障害のある人 同和問題 外国人 その他の人権課題	<ul style="list-style-type: none"> ・性別に基づく固定的な役割分担意識を是正し、人権尊重を基盤とした男女平等観を育む。 ・生徒を1人の人格として尊重し、社会の中で果たす義務や自己責任について理解する。 ・高齢社会に関する基礎的理解や介護・福祉などの課題に関する理解を深めさせるとともに、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育む。 ・ノーマライゼーションの理念を自らの生き方に取り入れ、共生社会の実現に努める意識を高める。 ・同和問題を正しく理解し、部落差別をなくしていく実践力を身に付ける。 ・国際化の著しい進展を踏まえ、異文化を尊重する意識を育て、異なる文化を有する人々との共生社会の実現に向けた実践的態度を身に付ける。 ・情報モラル教育、性同一性障害をはじめとした性的マイノリティ等をはじめとした様々な人権問題を学習されることにより、全ての人々の人権が尊重された社会の実現に向けた実践的態度を身に付けさせる。 			
生徒指導				
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解に基づき、信頼関係に立った指導を推進する。 				
教育相談				
<ul style="list-style-type: none"> ・相談体制を充実させ、保護者等及び関係機関等との連携を密にする。 				
関連を図る取組				
<ul style="list-style-type: none"> 男女平等教育、福祉教育、特別支援教育、保健教育、国際理解教育、情報教育、進路キャリア教育 				
教職員研修				
<ul style="list-style-type: none"> ・「人権感覚育成プログラム」等を活用した参加体験型学習を取り入れた指導方法等の工夫改善を図る。 				

高等学校第2学年 年間指導計画（例）

◎人権感覚育成プログラム（学校教育編）第2集【新規】

*人権感覚育成プログラム増補版（学校教育編）平成25年3月

○人権感覚育成プログラム（学校教育編）平成20年3月

月	教科等	主題・題材名	目標	人権教育との関連
4	ホールーム活動	匠の里 ○	集団内の組織化、意思決定、リーダーシップのあり方について考える。	自他を尊重し、協力して問題解決を図るためのコミュニケーション能力を育成する。【コミュニケーション能力】
5	公民	現代の民主政治と政治参加の意義	日本国憲法の基本的人権の尊重を通して、差別の非合理性について理解を深める。	部落差別の非合理性について理解し、差別をなくす意欲と実践力を養う。【同和問題】
	ホールーム活動	あなたは賛成ですか？反対ですか？○	他者の意見を傾聴し、自己の意見を適切に表現する能力を養う。	自他ともにかけがえのない人間として認識し、自分自身を尊重しようとする感情や態度を養う。【自己尊重の感情】
6	公民	どうする？町の問題！ ○	利害が対立する問題を、相互にプラスになるような解決策を考える。	同じ社会集団の一員として、共通の目的を目指して努力することができるようとする。【共感と連帯感】
	家庭	青年期の自立と家族・家庭及び社会	男女共同参画社会の実現に向け、家族・家庭のあり方について理解を深める。	習慣・慣行の中にある差別意識や性別に基づく固定的な役割分担を見直し、男女平等観の形成を図る。【女性】
7	ホールーム活動	尊重し合う社会をつくるために ○	デートDVを題材としてロールプレイや話し合い活動を行い、お互いを尊重した言動について考える。	相互に尊重することの重要性を認識し、積極的に社会に参加・参画していくことができるようとする。【参加・参画】
9	公民	脳死と臓器移植について考える ○	脳死と臓器移植を題材とした話し合い活動を通して、自他の生命の尊重について、多面的・多角的に考える。	自分の命を大切にし、他者の生命も尊重して、生命のぬくもりを感じ取れるようにする。【生命尊重】
10	保健体育	現代の感染症とその予防	性感染症について、感染経路や予防対策について正しい理解を深める。	HIV等について正しく理解し、HIV感染者等への差別に対して適切な行動がとれるようとする。【HIV感染者等】
11	総合的な学習（探究）の時間	「夢」をもって生きる ○	公民権運動に関する話し合い活動を通じて、人種差別について考えを深める。	相手の立場に立って、その気持ちを想像したり、考えたりすることができるようとする。【人間の尊厳・価値の尊重】
12	ホールーム活動	長所も短所もいいところ ○	お互いの長所を褒め合うことで、よりよい人間関係を形成するとともに、自他の個性を理解し尊重する。	自分を価値ある存在として肯定的に認め、受け入れができるようとする。【自己尊重の感情】
1	情報	情報社会の問題解決	情報社会において果たす役割や責任、情報モラルなどについて、理解を深める。	インターネットやSNSによる人権侵害の加害者・被害者とならない判断力を身に付ける。【インターネットによる人権侵害】
2	総合的な学習（探究）の時間	ともに分かり合うために ○	外国人居住者との間のトラブルについて、生活習慣の違い等を踏まえて、共生するための解決方法を考える。	相手の立場に立ち分かり合うとする態度や、自分の考えを適切に伝える技能を養う。【コミュニケーション能力】
3	総合的な学習（探究）の時間	よりよい社会の実現に向けて！ ○	課題について自分自身のあり方、生き方との関わりで考え、よりよい解決に向けて行動する意識を高める。	公平・公正を尊重し、よりよい社会の実現に努めようとする心情や態度を養う。【公平・公正】